

地域間連携／活性化と楽しいIT 利用ヘルスケアサービス



ホームアイランズセキュリティ協議会
Home Islands Security Committee(HI-SC)

Jul.1, 2003
Yuki N. Karakawa
NORTH 10th Anniversary
At Sapporo, Japan



はじめに



昨今、QoL(Quality of Life)の為、ITを使った人間生活の補完環境が要望されており、この実現のため地域密着インフラの整備を必要とされています。

インフラ造りの国際動向

ゼロクリックの概念

地域の構造と連携

ゼロクリック事例ーウェルフェア

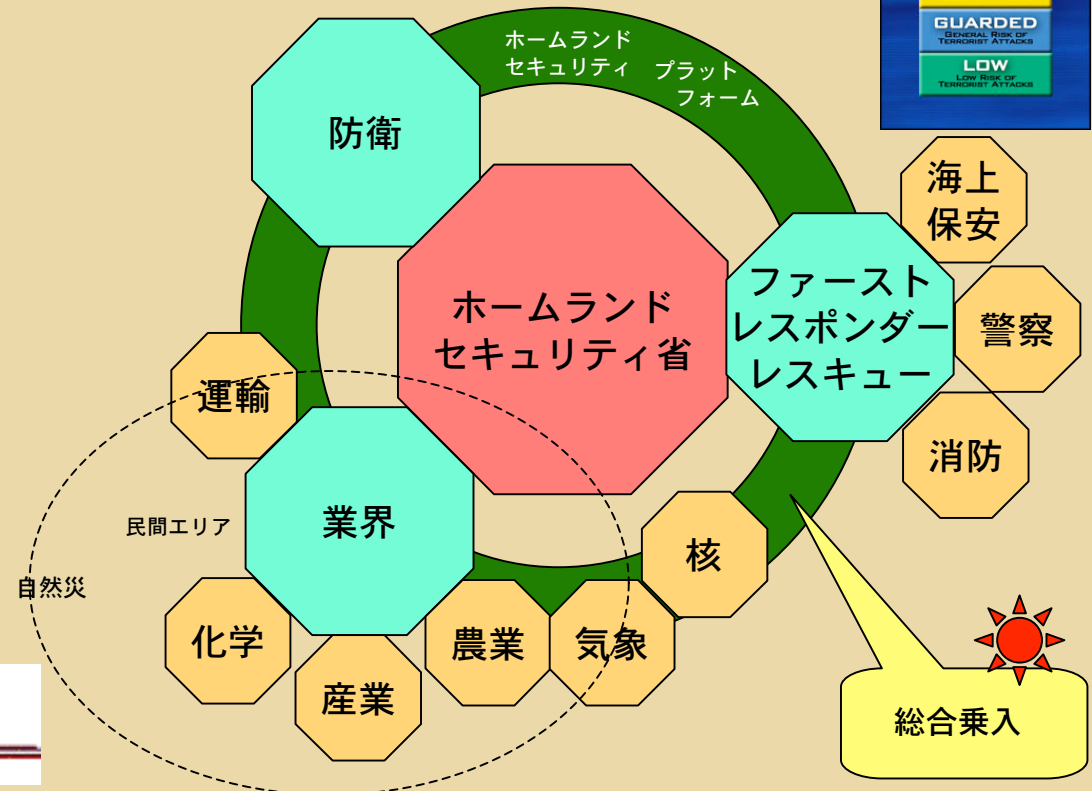
次世代セキュアプロトコル技術ーオニオンルーティング

U.S.におけるホームランドセキュリティ省の設立

セキュリティの維持(Secured)と標準化



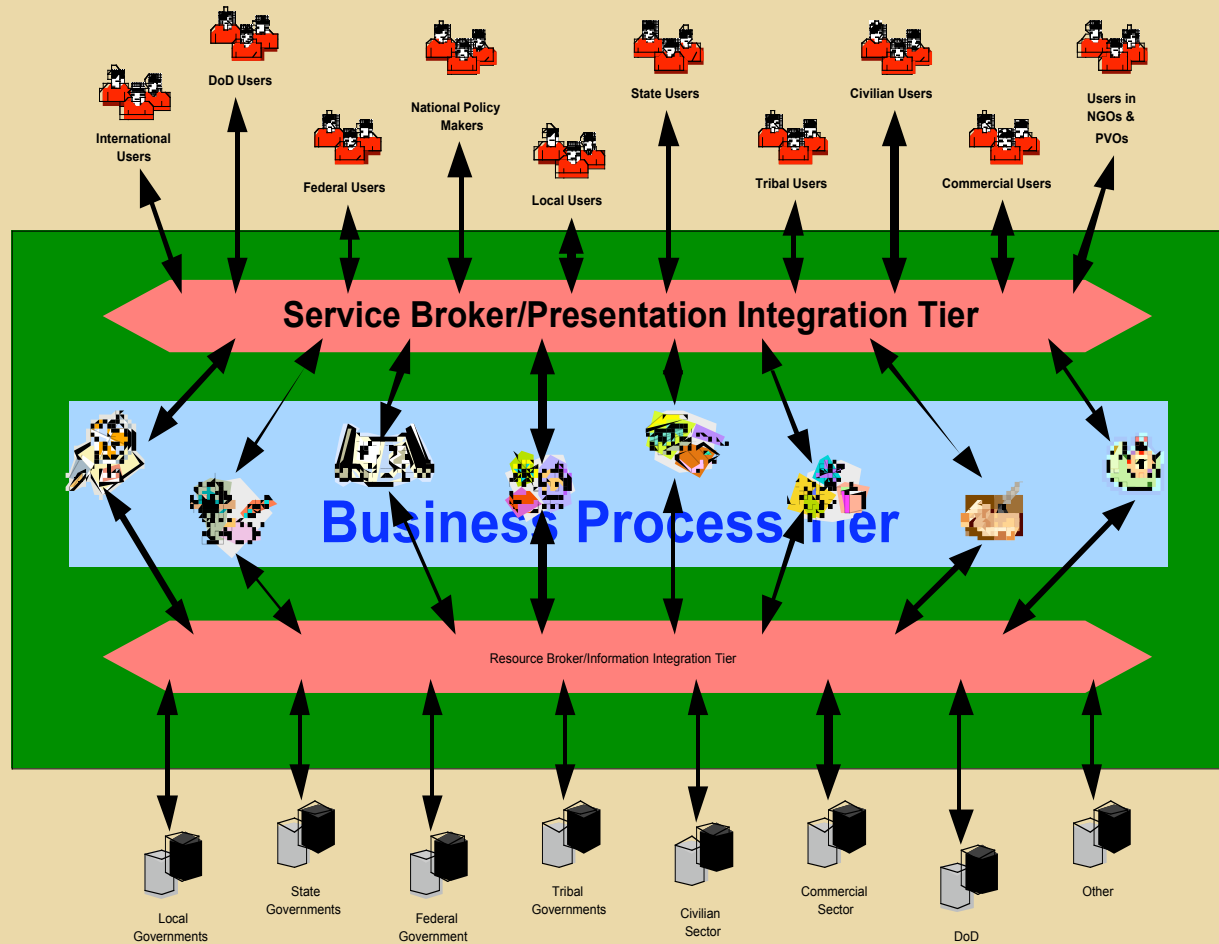
- 主たる目的
 - テロ対策及び、国家防衛のための社会インフラ整備及び管理
 - 全てのチャンネルを総合乗入れ
- 設立
 - 2002年
- 予算枠
 - 400兆円
- 所属
 - ホワイトハウス
- 参加者
 - 民間企業が参加
- フレームワーク
 - 連邦、州、市、民間
- セクター
 - 運輸、防衛、農業、気象...
- 緊急対策本部
 - 核危機、バイオ危機、化学危機、爆破危機
害危機



Confidential

Home Islands Security Committee

ホームランドセキュリティ情報インフラシステム 標準化されたシステム



Individuals, organizations, and systems of all user agencies (Federal, state, local, NGOs, etc.) participating in the Homeland Security Information System

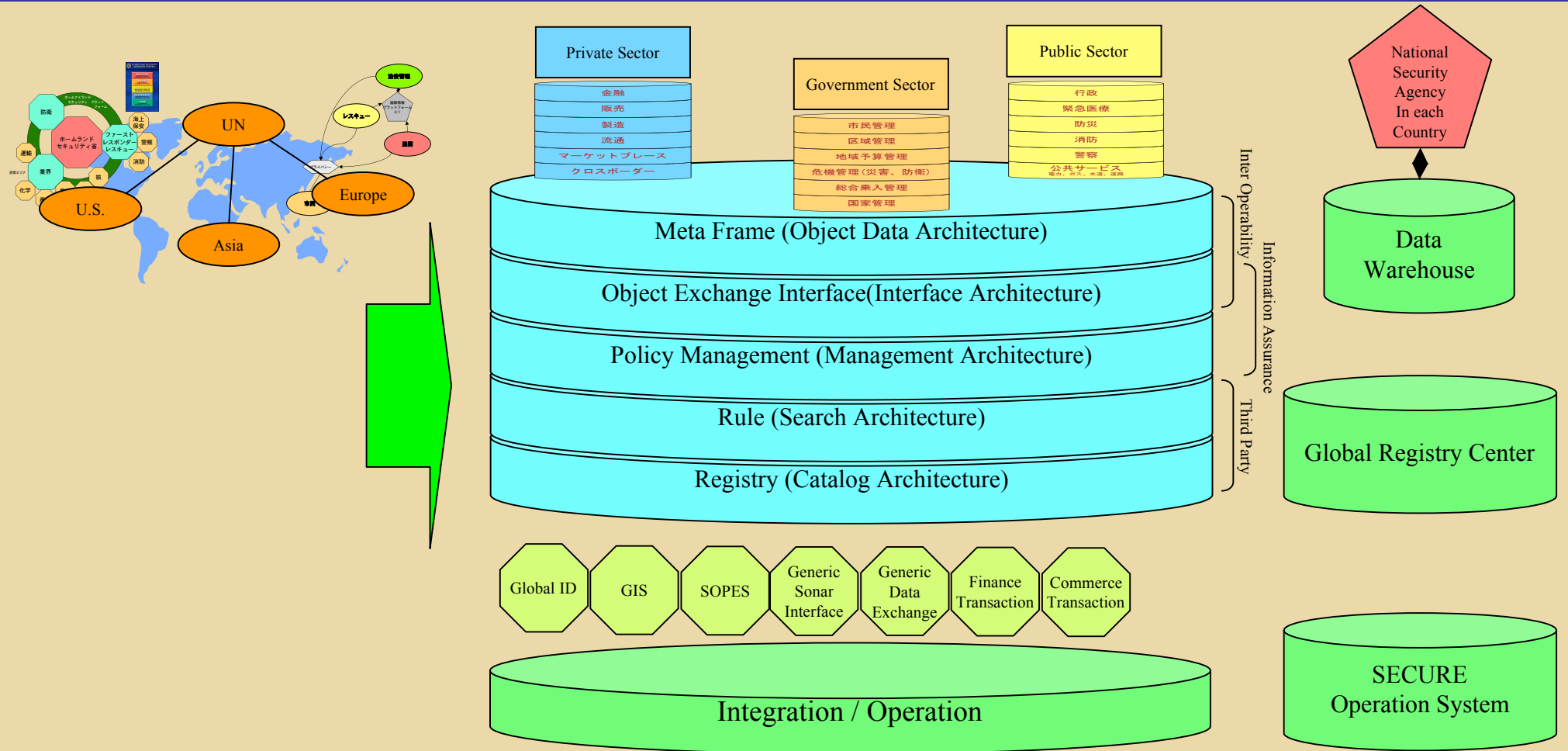
Tools, services, etc. offered by any participating agency for the use of all. Hosting, support, etc., to be provided by the offering agency or by a commercial service under contract. A distributed, virtual environment.

Resources offered by any participating agency or available from commercial providers under contract. Can range from a simple data server to a complete legacy system that provides needed information.

Confidential

Home Islands Security Committee

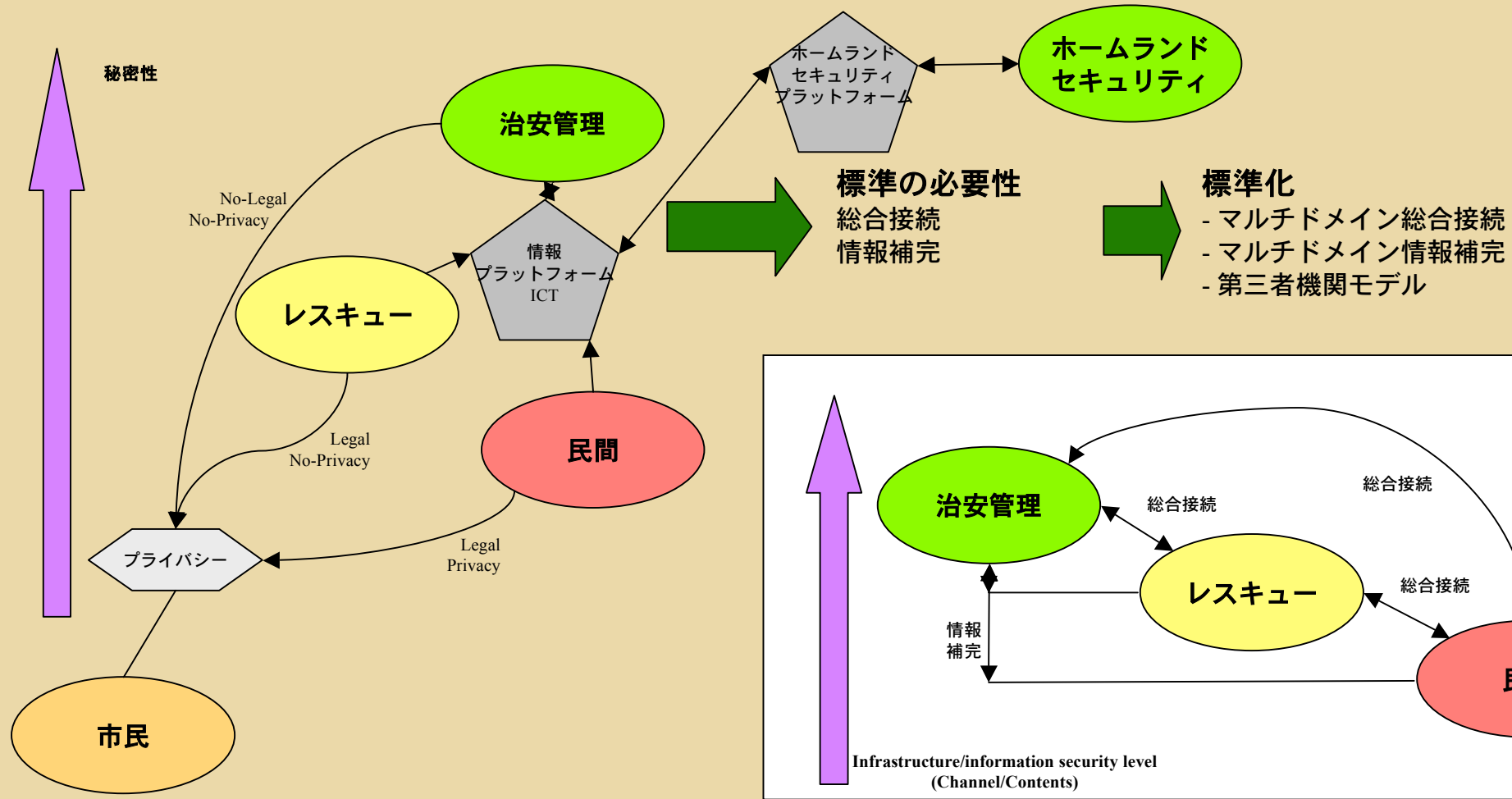
Global System Architecture for SECURED Society



Confidential

Home Islands Security Committee

ヨーロッパ、世界の動向(NATO及び国連)および標準化活動



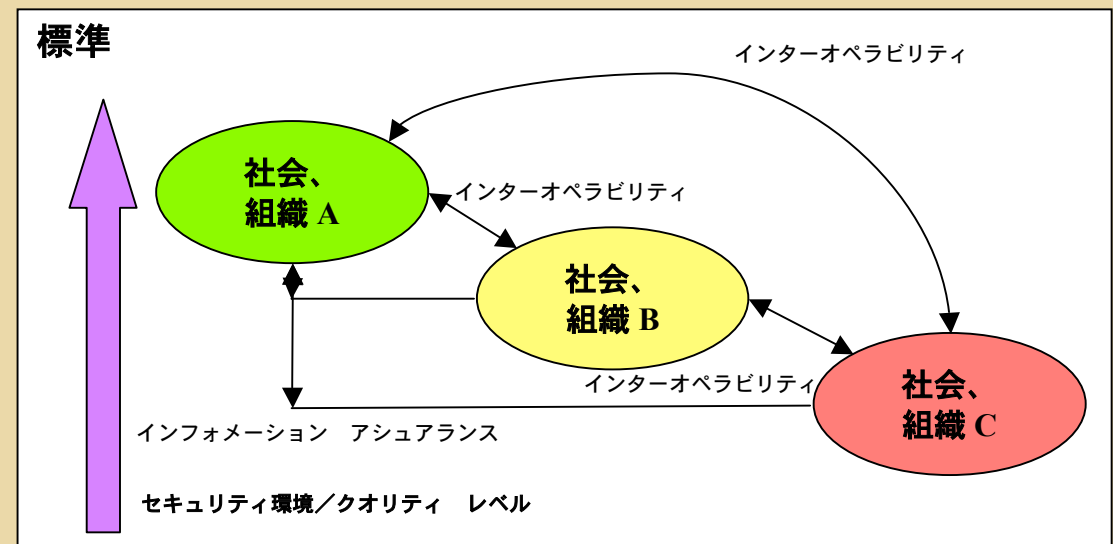
Confidential

Home Islands Security Committee

連携と標準化 基礎

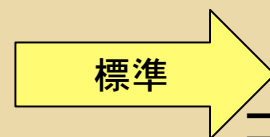
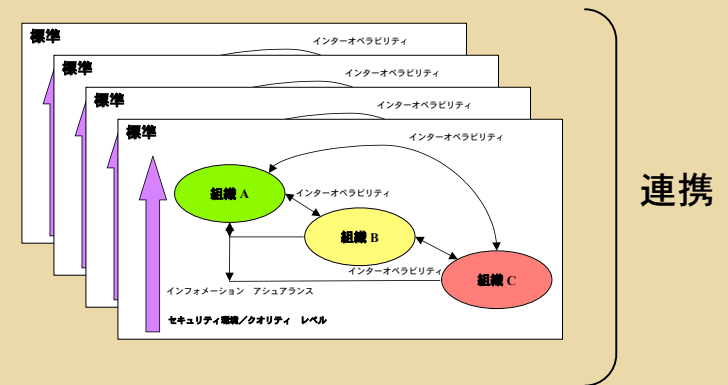
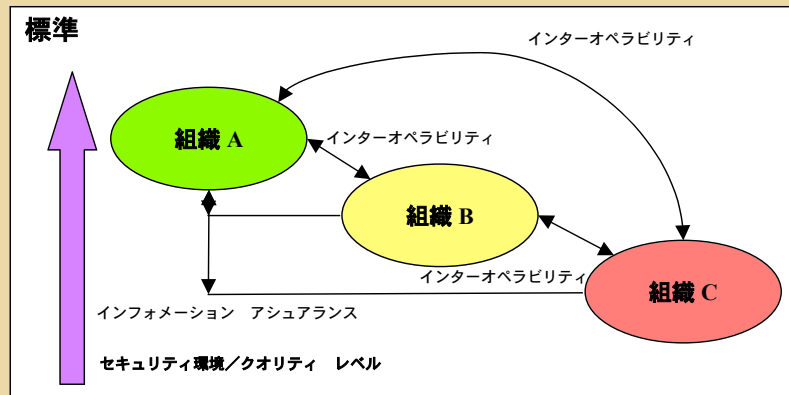


- **スコープ** (適応エリア)
 - 組織 (ドメイン) 内
 - 規定 (ポリシー)
 - 2 組織間 (デュアルドメイン)
 - 契約
 - 3 組織以上の間 (マルチドメイン)
 - 規制
 - 標準化
- **定義**
 - インターオペラビリティ (総合乗入、構造)
 - インフォメーションアシュアランス (オブジェクト移動)
- **実行**
 - インテグレーション (ルール)
 - グローバリゼーション (国際協調)
 - 第三者機関 (監査、運用)



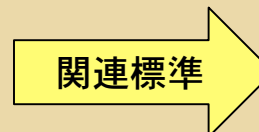
連携と標準化の拡張

インテグレーション、連携



コンソリデート(セグメント内融合)

Consolidation



コンバージェンス(セグメント間統合)

Convergence



Confidential

Home Islands Security Committee

国際標準化団体 OMGの活動紹介



- 主たる目的
 - インテグレーション、インターオペラビリティの実現
- 1989年設立の標準化団体
 - オブジェクト指向モデル
 - 分散システム
 - メタデータ技術
- メンバーは600社
- これまでの標準化技術
 - CORBA: Common Object Request Broker Architecture
 - UML: Unified Modeling Language
 - CWM: Common Warehouse Metadata
 - MDA: Model Driven Architecture
- 多組織との連携
 - ISO, ITU, IETF, W3C, OASYS等



国際危機管理協会IAEM



- 50年の歴史を持つ、国際危機管理協会であり、FEMA(Federal Emergency Management Agency)と連携をとって活動
- IAEM Homeland Security Expo
2003年11月14日－20日
国際協調危機管理
政府行政システム
危機管理室公開

EMEX 2003

ABOUT IAEM | EXHIBITORS | VIRTUAL EMEX 2003 TRADE SHOW | PRESS ROOM | SPONSORSHIP

The Emergency Management & Homeland Security Expo EMEX 2003

November 17-19, 2003
The Rosen Centre
Orlando, Florida

In today's world we must be vigilant, aware, and determined not to compromise our way of life as we face uncertainties. Being prepared is crucial. EMEX 2003 is here to assist. EMEX 2003 is the show that brings together the homeland security and disaster preparedness suppliers in the same building, under the auspices of the International Association of Emergency Managers (IAEM).

Attendee Profile: More than 750 leading emergency management and homeland security decision makers will convene at The Rosen Centre, in Orlando, Fla., for IAEM's 51st Annual Conference: "Connecting Communities...Comprehensive Emergency Management." Endorsed by the National Association of Manufacturers, there will be more educational tracks for private industry buyers. Attendees are purchasers or specifiers for their jurisdictions or corporations, to include disaster planning and preparedness managers, first response coordinators, emergency communications managers, private industry security and contingency planners, government continuity of operations managers, and contract services providers. info@emex2003.com

Book a Booth. Large display space or 8x10 exhibit booths are available and come with standard amenities. Exhibitors also will be included in a virtual trade show. Visit www.emex2003.com to see complete details and reserve your space today! For more information, contact Laurence Gratton at (703)538-1795 or email



Confidential

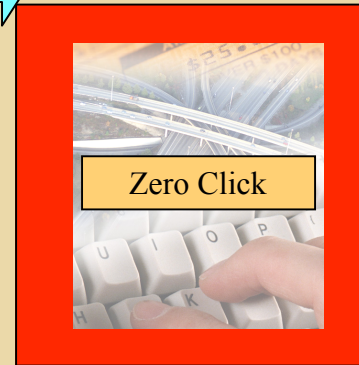
Home Islands Security Committee

ユーザシステムの進化



Click : 人間の意志

21世紀



価値 創造

- 昔のシステム
- バリューチェーン
- パッシブ
- エージェントサービス
- 必要

- 従来システム
- コンソリデーション統合
- ダイナミック
- ワンストップサービス
- 便利

- 次世代システム
- コンバージェンス（融合）
- プロアクティブ
- グリッドサービス
- うれしい

- 近未来システム
- 自律型
- アクティブ
- ロボットサービス
- 楽しい

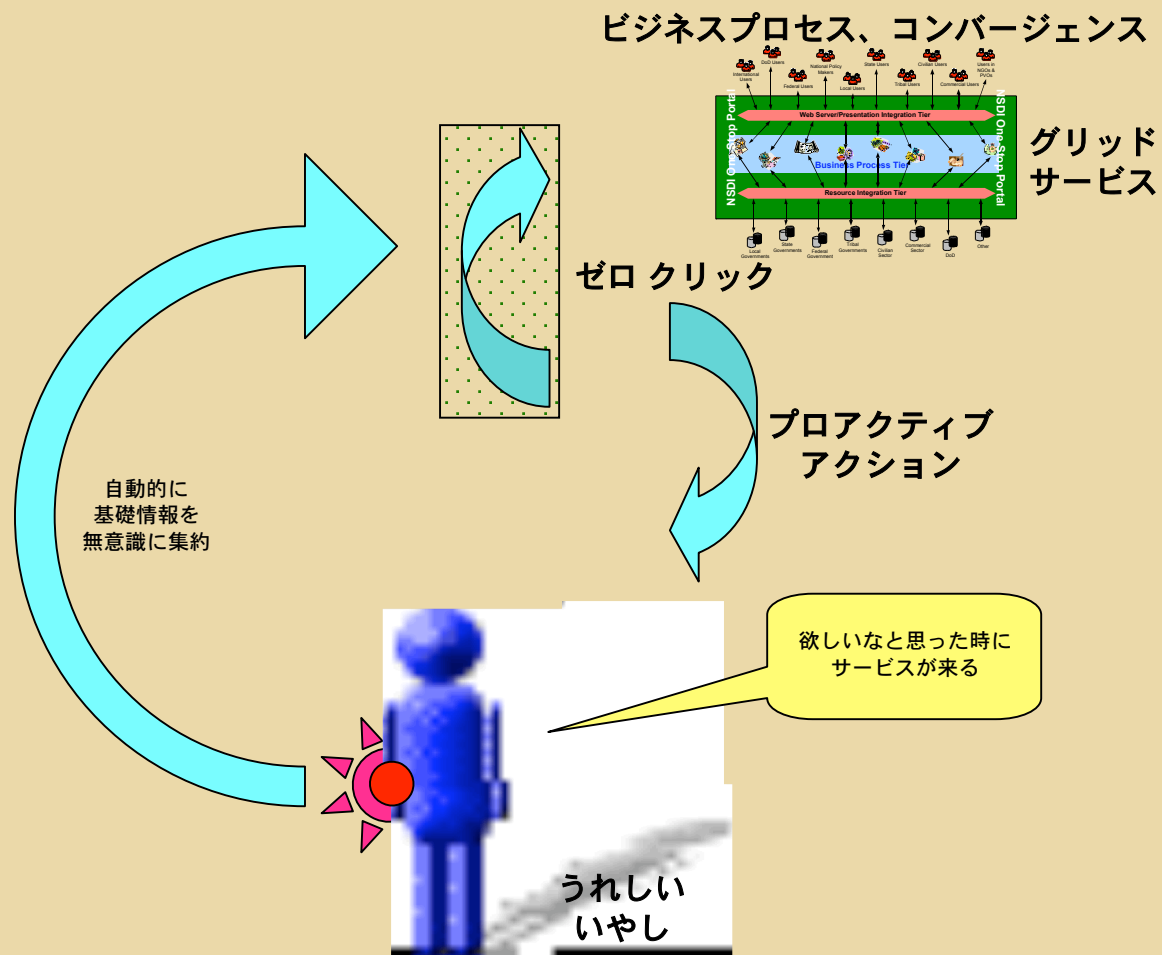
Confidential

Home Islands Security Committee

ゼロクリック モデル



- 次世代システム
- コンバージェンス（融合）
- プロアクティブ
- グリッドサービス
- うれしい



CRMは、統計ベース

Confidential

Home Islands Security Committee

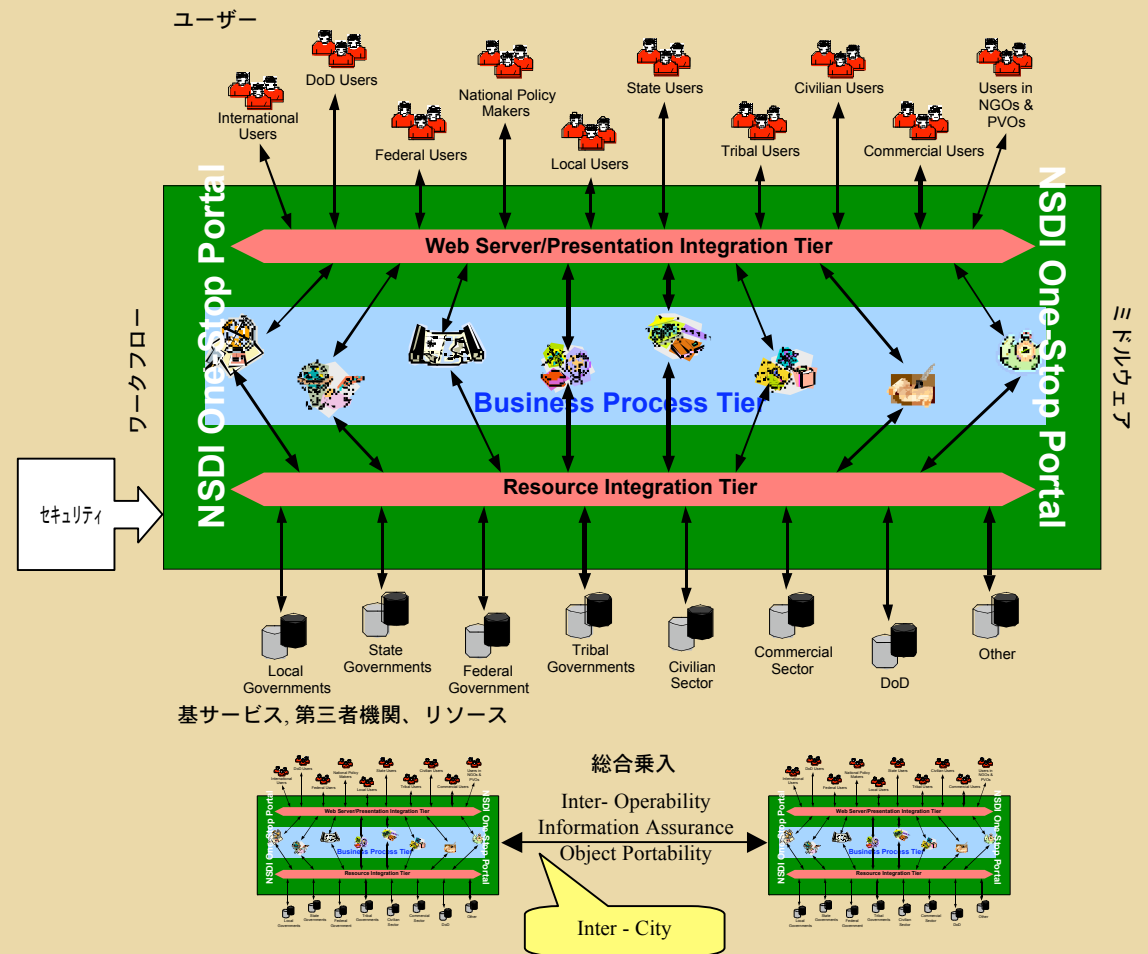
Zero Clickアーキテクチャ キー要素



情報システムアーキテクチャー ゼロクリックのバックボーン



- インターオペラビリティ（総合乗入）
- インフォメーションアシュアランス（情報保証）
- 第三者エージェント機関（リソースオーナー）
- 領域定義、第三者サービス機構定義（地図、インダストリ、ドメイン）



Confidential

Home Islands Security Committee

地域ポータルとサイバーポータル 地域活性化



地域／狭域システム（ポータル）

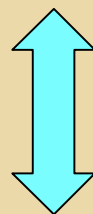
地域活性化モデル

- コンバージェンス
- 地域に依存したサービス
- 地域集団社会に向く（日本、ヨーロッパ）
- 地域連携による、サービスアライアンス機会大
- 人間社会の補完を基本
- 障害者に人間らしさを提供
- 例、ヘルスケアポータル、都市ポータル

広域システム（ポータル）

地域破壊モデル

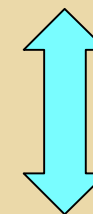
- コンソリデーション
- 地域に依存しないサービス
- 一極集中社会に向く（米国）
- 集中化による、コストメリット大
- 人間生活中物理的に移動の難しい場合に向く
- 障害者に優しいサービス
- 例、アマゾン（書店）、ヤフー



リアル

国際E Government

E-Japan



サイバー

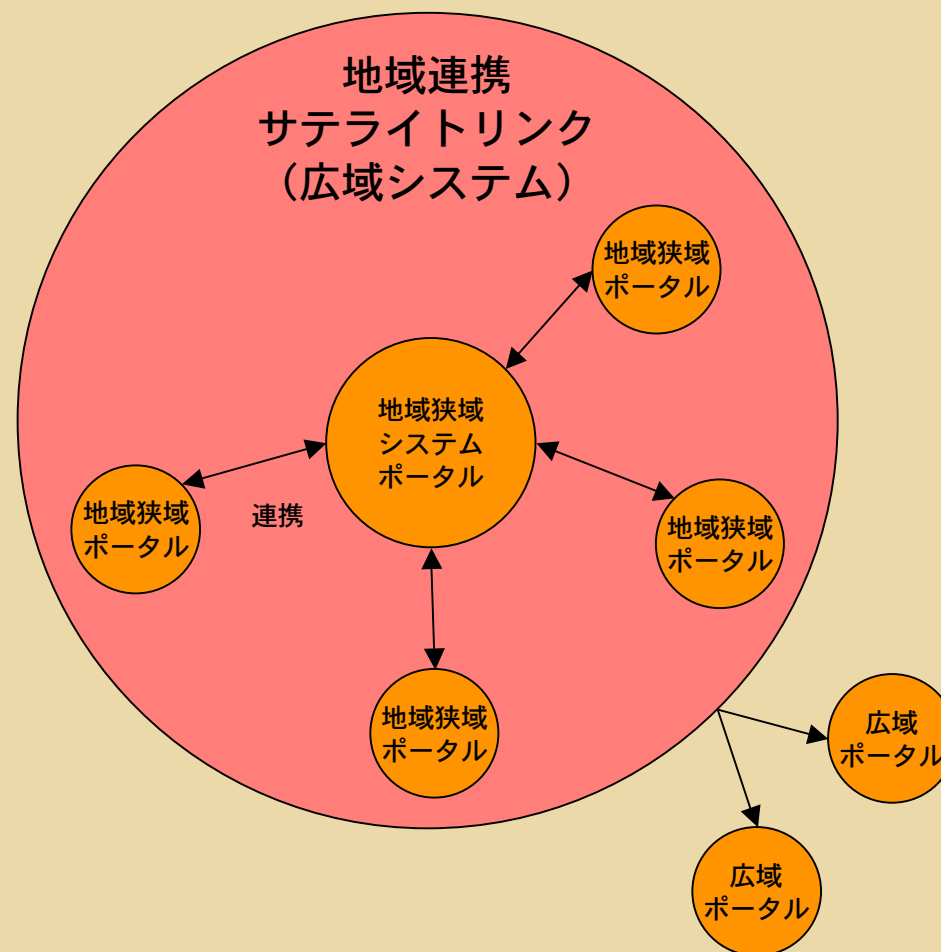
Confidential

Home Islands Security Committee

地域連携システム／ポータル



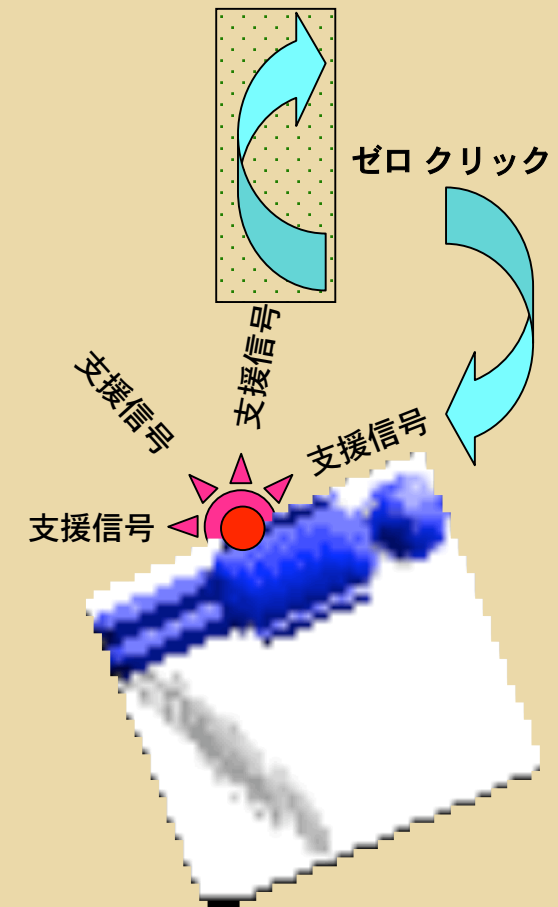
- 地域毎にポータルを構成し、各地域をサテライトリンクする
- 狭域システムと広域システムの融合
- インターオペラビリティ
- インフォメーションアシュアランス



事例ーウェルフェア（ヘルスケア）概要



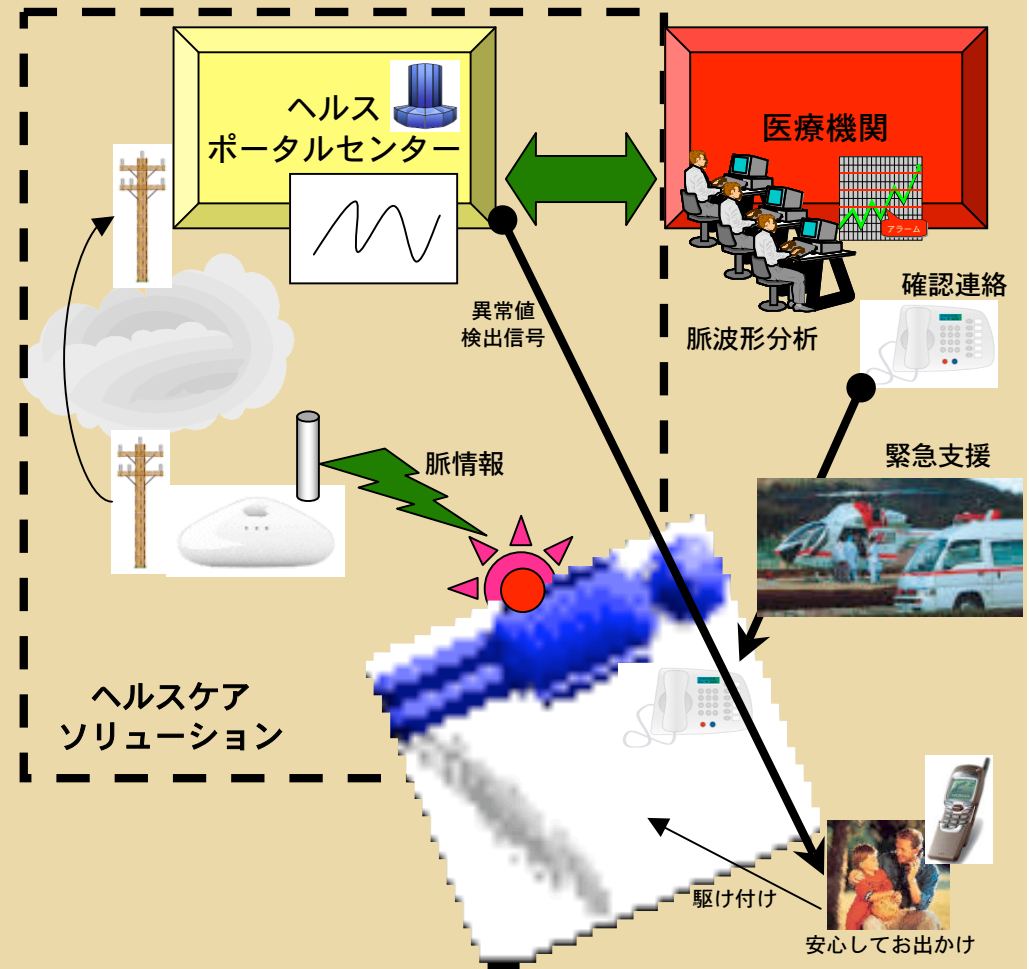
- 背景／ニーズ
 - － 昨今の高齢者層の増大により、効率の良い健康維持の仕組みおよび緊急時のすみやかな救援が現代社会において必要となっている。
 - － また、医療施設の不足の為、従来型往診を行う事は非常に難しい。
 - － 遠隔地の家族が、両親の健康を確認したい。
 - － ワンストップな医療サービスと医療機関のサポートシステムの確立が必要とされている
- コンセプト
 - － ボタンを押さずに緊急事態を通報する。世の中に普及しているインターネット対応コンピュータの利用により、低コストで遠隔確認を行う。医療機器ではなく、健康管理システムとして、医療機関の補完を行う。
 - － ヘルスケアポータルとし患者および家族から健康状態を確認可能
 - － 安全で、安心し、癒しを感じる事の出来る生活のための情報処理技術の確立を行う（QoL）
 - － 医療サービスの補完をシステムを駆使し行う



事例一ウェルフェア アーキテクチャ

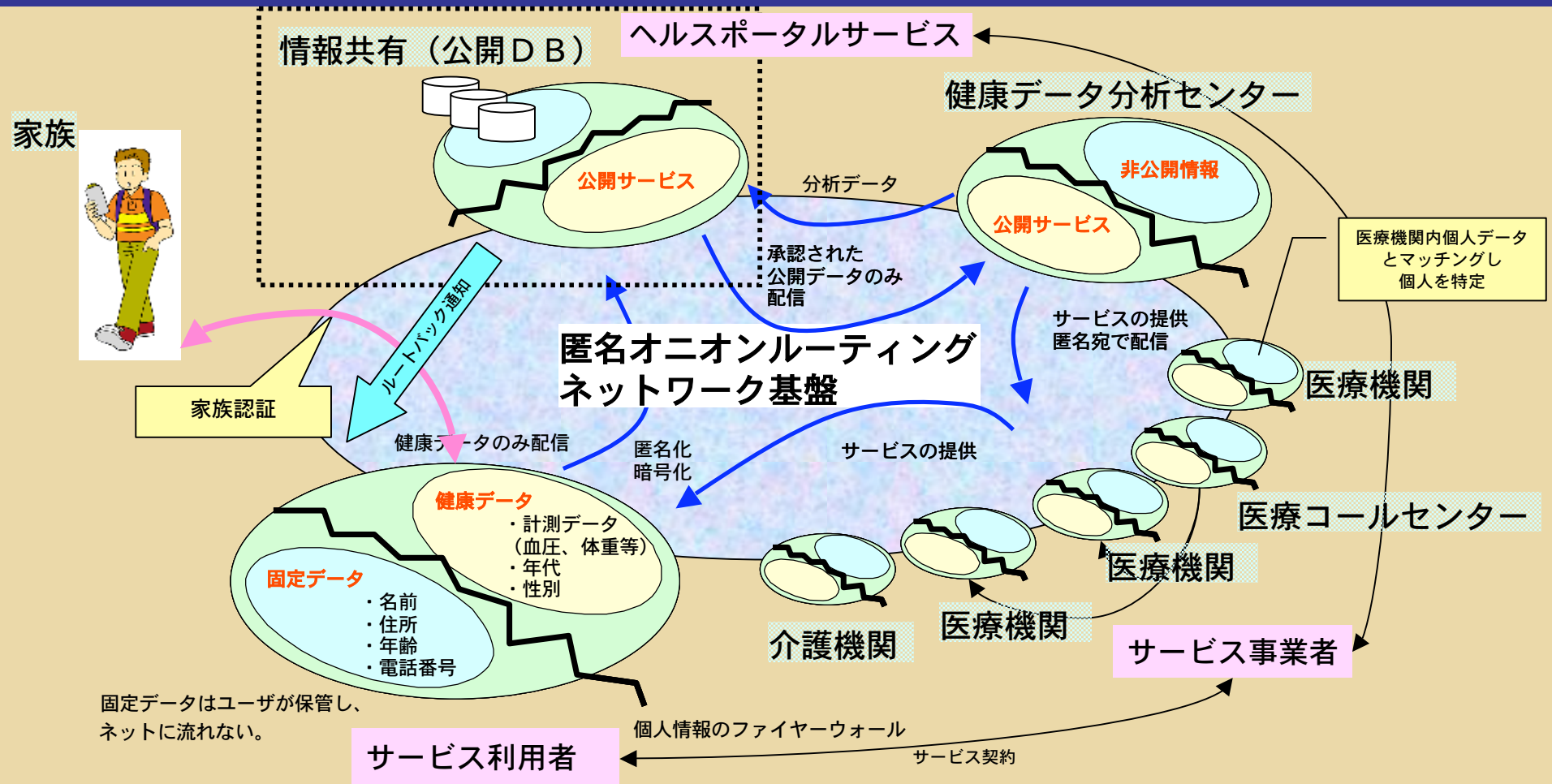


- 高齢者に脈を検出可能な小型発信器を配布（小型発信器および医療機関が対応する事により、脈以外にも将来対応可能）
- 小型発信器の信号をワイヤレスインターネットルーターにて集約し、ヘルスポータルに個人状況をアップロードする。
- 個人情報を守るためセキュリティを確保する。
- 医療センターは、ヘルスポータルセンターの情報に基づき、各高齢者の脈の波形を分析する事により健康悪化状態に対し早めの警告を行い病院に行く事を促す。
- 異常脈波形が発生した場合には、医療センターより、高齢者宅に電話により状態確認を行い、状態によっては、緊急救援出動を行う。
- ヘルスポータルより家族の携帯電話等へのメールによる異常通達を行う。





セキュアなヘルスケアポータル情報基盤



Confidential

Home Islands Security Committee

サービスメニュー



サービス

- 健康情報管理サービス
- 健康モニタリングサービス
- 健康通知サービス
- 健康日記記録サービス
- 健康情報サービス
- 盲導危機通知サービス
- 盲導コールサービス
- 医療機関マッピングサービス
- 診療受付予約サービス
- 遠隔ドクターサービス（漢方処方等）
- セキュアメッセージサービス
- 車椅子ナビゲーション

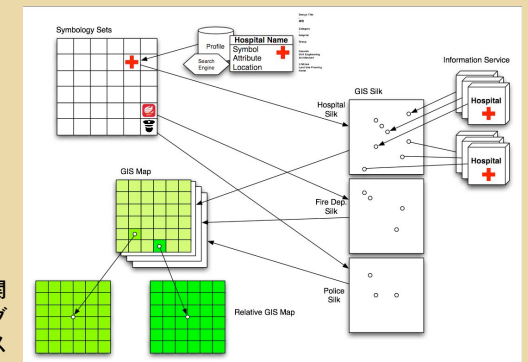


リモートカメラ

カメラガイド



医療機関
マッピング
サービス



ホームアイランズセキュリティ 協議会

ホームアイランズセキュリティ協議会の設立

社会としての構造の策定および標準化



目的

セキュアな社会／環境造りを目指し、主に、社会のセキュアなインフォメーション・システムにフォーカスをしぼり、調査、研究、情報交換、提言等の活動を行うために設立
セキュアド・ソサイエティ・インフォメーション・システムの対象分野とし、ガバメントセクタ、パブリックセクタ、プライベートセクタを想定

活動

国際情報を日本に持込、社会セキュリティシステム実装の協議を行い、国際標準化団体との国際協調を行う。

設立

- 国際標準化機構OMGとの2002年11月の国際合意に元ずき、2003年1月国際機関として設立。本部事務局を東京に設置

機能

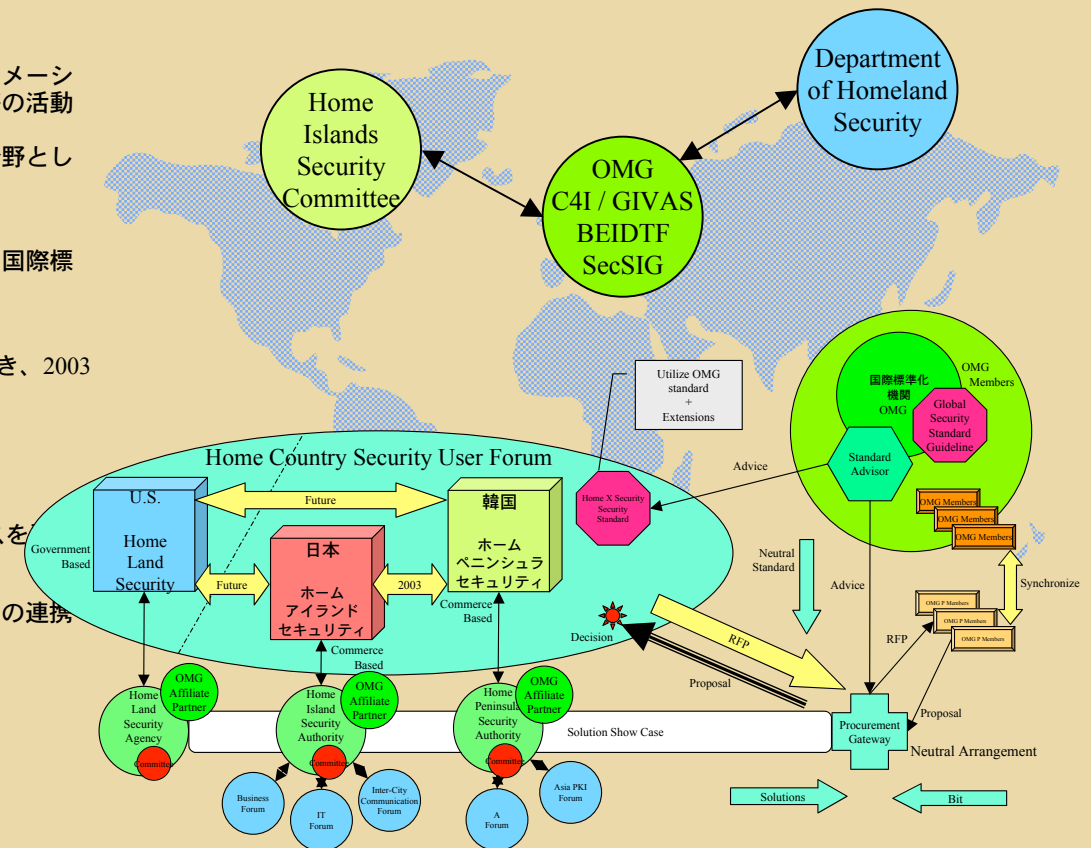
- 国際情報共有／提供
- 国際標準機関との同調
- ソリューションショーケースを提供し、各国のビジネスケースを

標準化

- 国際標準化団体OMG等の標準と同調を行い、IAEM等他機関との連携も開始

アドバイザー

- 国際的専門家50名により結成



Confidential

Home Islands Security Committee

ホームアイランズセキュリティ協議会(NGO,NPO) 運営組織



- **会長**
 - 石田晴久 (東京大学名誉教授)
- **理事長**
 - 唐川 伸幸 (元PriceWaterhouseCoopers)
- **理事**
 - 長谷川英重 (国際標準化機構OMG、NPO)
 - 堀口 洋一 (株式会社マーケティング・ラボ)
 - 臼井 義美 (情報セキュリティ研究所,NPO)
 - 毛利 良男 (株式会社 富士通プライムソフトテクノロジー)
- **セクレタリジェネラル**
 - 岩崎 善徳 (セイコーインスツルメンツ株式会社)
- **コントリビューションスタッフ**
 - 野川 裕記 (大阪大学)
 - 藤田 進 (株式会社 富士通プライムソフトテクノロジー)
 - 下田 隆雅 (ISK)
 - 東野 裕 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
- **監査人**
 - 野田 勇司 (AIC監査法人)
- **顧問弁護士**
 - 細谷 義徳 (弁護士)
- **専門アドバイザー**
 - 50名
- **アライアンス／パートナー**
 - 国際標準化機構OMG(NPO)
 - IAEM危機管理協会 (NPO)
 - 全日本大学解放推進機構(NPO)
 - 情報セキュリティ研究所(NPO)
 - 地理情報GIS総合研究所(NPO)
 - 国際都市機構(ICC,総務省)
 - 第三者検査機構(NPO)
 - E4C Village(NPO)
 - 大阪大学セキュアネット
 - フィンランド、クオーピオ大学
 - CBOP国際ソフトウェア推進機構(NPO)
 - サイバーSEC
 - 日本安全工学研究所(NPO)
 - JAMINA(NPO)
- **その他関連**
 - ISO, ITU, 国連、フィンランド大統領 ITCM, U.S. National Homeland Security, Oasis, XBRL, NATO, U.S. NIST, U.S. FRB, U.S. NSA, U.S. NASA

Contacts

連絡先



Please contact to HI-SC for farther questions.
We are the enabler of your society.



Yuki N. Karakawa

唐川 伸幸

理事代表

Home Islands Security Committee

ホーム・アイランズ・セキュリティ協議会

住所:

東京都港区高輪 4-20-17-201

電話: +81-(0)3-3443-8385

+81-(0)90-939-75430

+41-(0)79-398-6407

E-Mail: ykarakawa.kfgate@ma.newweb.ne.jp

Web: www.hi-sc.org(準備中)

Confidential

Home Islands Security Committee